

誠実

第1学年学年通信
2020年11月4日
第6号

～岩中生らしくなってきました～

早いもので、不安と緊張でドキドキしていた入学式から半年が過ぎました。この半年間で「あいさつとは・・・」「掃除とは・・・」「授業とは・・・」など、多くの場面で岩中生としての在り方を考え、幼い顔から徐々に中学生らしい顔つきに変わってきました。ここまでは「学校生活に慣れること」や「仲間づくりが」が重点だとすれば、これからは前期に築いたものをいかに深めるかが重点になってきます。文化祭が終わり、一区切りしたこの時期にこれまでを振り返り、ここからどう頑張りたいかを考えてみると良いと思います。

初めての文化祭

10月24日(土)に中学校で初めての文化祭が行われました。今年はコロナ対応のため、例年とは違う形での開催でしたが、仲間と協力することの大切さ、仲間のために頑張ってくれている人に感謝することの大切さを学ぶことができたと思います。普段、当たり前前に思っていることは、だれかの頑張りによってそのことができあがっています。これからもだれかの頑なりに気づく、感謝する、自分もできることはするという気持ちをもって学校生活を送ってほしいと思います。



生徒の振り返りより

初めての文化祭はとても緊張したけど、楽しかったです。合唱では、パートリーダーとしてクラスみんなの協力することができて良かったです。

文化祭の準備では、ちぎり絵が大変でした。白い部分を作らないようにしたり、のりが手につかないように気をつけました。最後、見事な「富士山」ができたのでうれしかったです。

初めての文化祭は、楽しかったし、とてもおもしろかったです。全校いっしょにできなかったけれど、1年生だけでも楽しかったのでよかったです。

発表では、練習通りに出来て、ほっとしました。リハーサルの時よりも本番はすごく短く感じました。金賞はとれなかったけど、本番が一番よくできたので、よかったです。